

## 矢作川水域における各河川の調査結果の概略

1 矢作川

水域名	既存 類型	地点名	環境基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温( )		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
矢作川 上流 (1)	AA 類型	上郷大橋		↕			↕	↕			無	石 岩盤		生物A	直ちに達成	
		押山ダム														ダム
		河上瀬橋														
		大川橋								12.6			22.2			
		矢作ダム								15.1			25.5			ダム
矢作川 上流	A 類型	笹戸ダム										ダム		生物B	直ちに達成	
		介木川合流点		×									ダム			
		有平橋		×												
		百月ダム											ダム			
		百月発電所		×												
		阿摺ダム											ダム			
		富国橋							14.2	24.0						
		広梅橋		×												
		越戸ダム											ダム			
		平戸橋		×												
		平成記念橋		×												
		明治用水頭首工							16.1	26.6			頭首工			
		矢作川 下流	B 類型	葵大橋		×							砂			
岩津天神橋							16.4	27.4								
乙川合流点				×												
木戸							16.7	28.5								
藤井床固											床固					
米津大橋				×			17.0	30.2								
中畑橋							17.4	29.2								
矢作川河口																

凡例)

地点名 ゴシック体は、既存調査及び現地調査で水生生物(魚介類)の調査を実施している地点 環境基準地点等 : 水質環境基準地点、 : 補助点

水生生物生息状況 ヒアリング: 漁協、専門家等からのヒアリング結果による生息範囲 調査結果: は既存調査及び現地調査で生物A・生物Bの魚介類の生息が確認された地点、×は確認されなかった地点

魚類放流 漁協が魚類を放流している範囲

水温 平均水温: 平成15~19年度の年平均値の5年平均 最高水温: 平成15~19年度の年最高値の5年平均

保護水面等 水産資源保護法に基づき保護水面に指定された水域、産卵場又は幼稚仔の生育場として保護が図られている水域など

魚道 : 魚道あり

調査で確認された魚類 生物A該当種: アマゴ、ニッコウイワナ

生物B該当種(矢作ダムより上流): オイカワ、ウグイなど、(矢作ダムより下流): コイ、フナ類、オイカワ、ウグイ、スジエビなど

放流された魚類 生物A該当種: アマゴ、ニジマス

生物B該当種(矢作ダムより上流): ウナギ、(矢作ダムより下流): コイ、フナ、ウナギ

2 巴川

水域名	既存 類型	地点名	環境基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温( )		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
巴川	A類型	界橋			×		↑ 毎年 では ない ↓	↑			無	石 岩盤			生物B	直 ちに 達 成
		恵帽子橋			×											
		羽布ダム												ダム		
		大羽橋					↑									
		沈下橋			×											
		盛岡発電所			×											
		足助川合流点														
		白瀬発電所			×											
		細川頭首工							15.1	27.1			頭首工			
矢作川合流点																

凡例)

地点名 ゴシック体は、既存調査及び現地調査で水生生物(魚介類)の調査を実施している地点 環境基準地点等 : 水質環境基準地点、 : 補助点  
 水生生物生息状況 ヒアリング: 漁協、専門家等からのヒアリング結果による生息範囲 調査結果: は既存調査及び現地調査で生物A・生物Bの魚介類の生息が確認された地点、×は確認されなかった地点  
 魚類放流 漁協が魚類を放流している範囲  
 水温 平均水温: 平成15~19年度の年平均値の5年平均 最高水温: 平成15~19年度の年最高値の5年平均  
 保護水面等 水産資源保護法に基づき保護水面に指定された水域、産卵場又は幼稚仔の生育場として保護が図られている水域など  
 魚道 : 魚道あり

調査で確認された魚類 生物A該当種: ニジマス 放流された魚類 生物A該当種: アマゴ(時折放流)  
 生物B該当種: オイカワ、ウグイ、スジエビなど 生物B該当種: オイカワ、ウナギなど

3 乙川

水域名	既存 類型	地点名	環境基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温( )		保 護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間			
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温									
				ヒアリング	調査結果	調査結果													
乙川 上流	A 類型	前田橋		↕	×	×	↕	↕			無	礫石 岩盤			生物A	直ちに達成			
		聚楽台ビレッジ				×													
		乙川天神橋																	
		麻生橋			×														生物B
		須淵橋			×														
		友久橋			×														
		男川合流点・築野橋																	
		美保橋																	
		丸山堰															堰		
		大平堰															堰		
岡崎市上水道取入口			×				15.9	27.7											
乙川 下流	B 類型	日清堰										礫石							
		吹矢橋			×														
		占部用水取入口			×				18.2	29.5									
		乙川頭首工												頭首工					
		矢作川合流点																	

凡例)

地点名 ゴシック体は、既存調査及び現地調査で水生生物（魚介類）の調査を実施している地点 環境基準地点等 : 水質環境基準地点、 : 補助点  
 水生生物生息状況 ヒアリング: 漁協、専門家等からのヒアリング結果による生息範囲 調査結果: は既存調査及び現地調査で生物A・生物Bの魚介類の生息が確認された地点、×は確認されなかった地点  
 魚類放流 漁協が魚類を放流している範囲  
 水温 平均水温: 平成15~19年度の年平均値の5年平均 最高水温: 平成15~19年度の年最高値の5年平均  
 保護水面等 水産資源保護法に基づき保護水面に指定された水域、産卵場又は幼稚仔の生育場として保護が図られている水域など  
 魚道 : 魚道あり

調査で確認された魚類 生物A該当種: アマゴ  
 生物B該当種: コイ、フナ類、オイカワ、ウナギ、ナマズなど  
 放流された魚類 生物A該当種: アマゴ  
 生物B該当種: ウナギ

#### 4 鹿乗川

水域名	既存 類型	地点名	環境基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温( )		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
鹿乗川	C 類型	県道 44 号線橋梁			×					無	砂			生物 B	直ちに達成	
		東鹿乗川橋			×											
		新幹線橋梁・度合橋			×											
		姫下橋			×											
		居林橋			×											
		米津小橋						17.7	29.0							
		鹿乗川堰										堰				
		矢作川合流点				×										

凡例)

地点名 ゴシック体は、既存調査及び現地調査で水生生物（魚介類）の調査を実施している地点 環境基準地点等 : 水質環境基準地点、 : 補助点  
 水生生物生息状況 ヒアリング：漁協、専門家等からのヒアリング結果による生息範囲 調査結果： は既存調査及び現地調査で生物 A・生物 B の魚介類の生息が確認された地点、×は確認されなかった地点  
 魚類放流 漁協が魚類を放流している範囲  
 水温 平均水温：平成 15～19 年度の年平均値の 5 年平均 最高水温：平成 15～19 年度の年最高値の 5 年平均  
 保護水面等 水産資源保護法に基づき保護水面に指定された水域、産卵場又は幼稚仔の生育場として保護が図られている水域など  
 魚道 : 魚道あり

調査で確認された魚類 生物 B 該当種：コイ、フナ類、オイカワ、ナマズなど

#### 5 矢作古川

水域名	既存 類型	地点名	環境基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温( )		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物 A		生物 B	生物 A 該当種	生物 B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
矢作古川	C 類型	小島橋			×					無	砂礫			生物 B	直ちに達成	
		矢作古川橋			×											
		古川頭首工			×			17.6	28.5			頭首工				
		矢作古川河口														

凡例)

地点名 ゴシック体は、既存調査及び現地調査で水生生物（魚介類）の調査を実施している地点 環境基準地点等 : 水質環境基準地点、 : 補助点  
 水生生物生息状況 ヒアリング：漁協、専門家等からのヒアリング結果による生息範囲 調査結果： は既存調査及び現地調査で生物 A・生物 B の魚介類の生息が確認された地点、×は確認されなかった地点  
 魚類放流 漁協が魚類を放流している範囲  
 水温 平均水温：平成 15～19 年度の年平均値の 5 年平均 最高水温：平成 15～19 年度の年最高値の 5 年平均  
 保護水面等 水産資源保護法に基づき保護水面に指定された水域、産卵場又は幼稚仔の生育場として保護が図られている水域など  
 魚道 : 魚道あり

調査で確認された魚類 生物 B 該当種：コイ、フナ類、オイカワ、スジエビ、モクズガニなど

6 介木川

水域名	既存 類型	地点名	環境基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温( )		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
介木川	A類型	柿平橋		↑ ↓		×	↑ ↓	↑ ↓			無	石 岩盤		生物A	直 ちに 達 成	
		旭橋														
		萬町橋				×										
		万町浄水場取入口								13.3			22.9			
		介木橋														
		小渡新橋			×					13.3			22.9			
		矢作川合流点														

凡例)

地点名 ゴシック体は、既存調査及び現地調査で水生生物（魚介類）の調査を実施している地点 環境基準地点等 : 水質環境基準地点、 : 補助点  
 水生生物生息状況 ヒアリング：漁協、専門家等からのヒアリング結果による生息範囲 調査結果： は既存調査及び現地調査で生物A・生物Bの魚介類の生息が確認された地点、×は確認されなかった地点  
 魚類放流 漁協が魚類を放流している範囲  
 水温 平均水温：平成15～19年度の年平均値の5年平均 最高水温：平成15～19年度の年最高値の5年平均  
 保護水面等 水産資源保護法に基づき保護水面に指定された水域、産卵場又は幼稚仔の生育場として保護が図られている水域など  
 魚道 : 魚道あり

調査で確認された魚類	生物A該当種：アマゴ 生物B該当種：オイカワ、ドジョウなど	放流された魚類	生物A該当種：アマゴ 生物B該当種：コイ、フナ、ウナギ
------------	----------------------------------	---------	--------------------------------

7 男川

水域名	既存 類型	地点名	環境基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温( )		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A 該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
男川	A 類型	双瀬橋					↑ ↓			無	石 岩盤			生物B	直 ちに 達 成	
		淡淵堰堤											堰			
		滝下橋			×											
		南部簡易水道浄水場取入口						14.8	26.0							
		堰											堰			
		床固											床固			
		取水堰											堰			
		生平小学校			×											
		学校橋			×			14.8	25.8							
		乙川合流点														

凡例)

地点名 ゴシック体は、既存調査及び現地調査で水生生物（魚介類）の調査を実施している地点 環境基準地点等 : 水質環境基準地点、 : 補助点  
 水生生物生息状況 ヒアリング：漁協、専門家等からのヒアリング結果による生息範囲 調査結果： は既存調査及び現地調査で生物A・生物Bの魚介類の生息が確認された地点、×は確認されなかった地点  
 魚類放流 漁協が魚類を放流している範囲  
 水温 平均水温：平成 15～19 年度の年平均値の 5 年平均 最高水温：平成 15～19 年度の年最高値の 5 年平均  
 保護水面等 水産資源保護法に基づき保護水面に指定された水域、産卵場又は幼稚仔の生育場として保護が図られている水域など  
 魚道 : 魚道あり

調査で確認された魚類 生物B 該当種：フナ類、オイカワ、ウナギなど 放流された魚類 生物B 該当種：ウナギ

8 雨山川及び乙女川下流

水域名	既存 類型	地点名	環境基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温( )		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
雨山川 及び 乙女川 下流	A類型	雨山ダム					↑ ↓			無	石 岩盤	ダム		生物B	直 ちに 達 成	
		栗田橋		×												
		ツノジ橋						14.8	24.7							
		堰堤														
		万足上橋						14.8	25.3							
		男川合流点		×												

凡例)  
 地点名 ゴシック体は、既存調査及び現地調査で水生生物(魚介類)の調査を実施している地点 環境基準地点等 : 水質環境基準地点、 : 補助点  
 水生生物生息状況 ヒアリング: 漁協、専門家等からのヒアリング結果による生息範囲 調査結果: は既存調査及び現地調査で生物A・生物Bの魚介類の生息が確認された地点、×は確認されなかった地点  
 魚類放流 漁協が魚類を放流している範囲  
 水温 平均水温: 平成15~19年度の年平均値の5年平均 最高水温: 平成15~19年度の年最高値の5年平均  
 保護水面等 水産資源保護法に基づき保護水面に指定された水域、産卵場又は幼稚仔の生育場として保護が図られている水域など  
 魚道 : 魚道あり

調査で確認された魚類 生物B該当種: オイカワなど 放流された魚類 生物B該当種: ウナギ

9 木瀬川及び犬伏川下流

水域名	既存 類型	地点名	環境基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温( )		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
木瀬川 及び 犬伏川 下流	A類型	第2ダム					↑ ↓			無	砂 岩盤	ダム		生物B	直 ちに 達 成	
		木瀬ダム		×												
		前戸橋		×												
		堀越橋						14.9	25.6							
		落合橋		×												
		犬伏橋						14.0	24.7							
		矢作川合流点														

凡例)  
 地点名 ゴシック体は、既存調査及び現地調査で水生生物(魚介類)の調査を実施している地点 環境基準地点等 : 水質環境基準地点、 : 補助点  
 水生生物生息状況 ヒアリング: 漁協、専門家等からのヒアリング結果による生息範囲 調査結果: は既存調査及び現地調査で生物A・生物Bの魚介類の生息が確認された地点、×は確認されなかった地点  
 魚類放流 漁協が魚類を放流している範囲  
 水温 平均水温: 平成15~19年度の年平均値の5年平均 最高水温: 平成15~19年度の年最高値の5年平均  
 保護水面等 水産資源保護法に基づき保護水面に指定された水域、産卵場又は幼稚仔の生育場として保護が図られている水域など  
 魚道 : 魚道あり

調査で確認された魚類 生物B該当種: オイカワなど 放流された魚類 生物B該当種: コイ、フナ、ウナギ